

## 新しい手洗のカタチ

野中 孝志 アズテック株式会社 QOL 推進室

厚生労働省令 (本年 2 月公布) により、高度な精製水 (殺菌水) を利用する術前手洗装置の必然性が薄れてきました。従来製品は、ランニングコストが高い! また、ブラシでの洗浄及びアルコール滅菌することによるスタッフの手荒れが酷いなど、現状の改善を強く要望する声が大きくなりつつあります。そこで当社では、各種医療機関、メーカーと共に、手洗のシステム全般を見直すことにしました。

### 手洗装置

私共は、トリプル安全機構 (従来の構造: UF フィルター、UV ランプ、蛇口 UV) は、オーバースペックと認識、管理されている水道水 (塩素が残留) であれば、滅菌・殺菌機構の必要なしとの認識で、蛇口部分の逆汚染のみを考慮した簡易型フィルターレス手洗装置を開発いたしました。

温熱管から冷陰極管へ変更することで、従来製品の 2 倍以上のライフを確保した UV ランプを開発、24 時間シャワーヘッドの目皿を照射・殺菌し蛇口からの逆汚染を防止する機構としました。

水が悪い地域では、中空糸膜の簡易フィルター付も用意し、ご利用施設の環境に合わせて製品が供給できます。また、フィルターの交換も病院のスタッフが簡単にワンタッチで可能な構造となっております。

さらに、今まで必要であったフィルターや UV ランプのスペースをストックポケットとして手洗に必要な消耗品 (薬液や滅菌タオル、ブラシカスト等) が直ぐに取り出せる便利な機構も考案いたしました。

また、ランニングコストも従来製品に比べると 1 / 3 から 1 / 5 になります。

### シンク

特殊山脈型構造となっており、水の跳ね返りが少なく、FRA 製で耐薬品性に優れており、軽量なので施工も簡単です。

### ブラッシングクロス

従来のブラシ洗浄は、皮脂が掻き落とされコンタミの原因になる可能性が大きく、しかも手荒れの原因でもあります。今回開発した特殊二重構造不織布 (ブラッシングクロス) は、肌に優しい上、スクラブ効果もブラシと変わりません。

私共は、感染防止に関するノウハウを結集し、現場のスタッフと連携、多くの医療関係者にご賛同いただける手洗のシステムを提案させていただきます。